

小田原市の スポーツ環境と スポーツ施設の 現状と課題

生涯スポーツ社会の実現

小田原市スポーツ振興基本指針に基づく
各種事業の推進

小田原市スポーツ施設整備基本方針

「誰もが、気軽に、安心して利用できる場の醸成」

実施方針 1 施設のあり方に応じた 長寿命化と再整備

- ▶老朽施設の状況に応じた対応
- ▶建築設備の改修
- ▶類似施設の統廃合検討
- ▶運動公園の整備及び既存施設の再整備の検討

実施方針 2 利用者ファーストの 機能向上

- ▶スポーツ器具・機能等の向上
- ▶ユニバーサルデザインの導入
- ▶新たなスポーツ（競技）への対応
- ▶身近かつ気軽な機会・場の活用
- ▶機能向上に資するソフト的な対応

実施方針 3 健全経営に 向けた運営

- ▶施設利用料の見直し
- ▶駐車場有料化の検討
- ▶施設維持管理・運営費の効率化

実施方針 4 多様な主体との 連携強化

- ▶施設整備・運営等における民間事業者等との連携強化
- ▶民間スポーツ施設との連携
- ▶県や近隣自治体との広域連携の強化

《中心的課題》

施設のハード的課題

- ・老朽化・バリアフリーへの対応
- ・酒匂川スポーツ広場の冠水
- ・御幸の浜プールの一部利用休止

施設のソフト的課題

- ・気軽なスポーツの機会向上
- ・スポーツができる場の創出
- ・新しいスポーツ施設の整備

市民アンケートの結果

- ・健康・体力づくりへの関心の高まり
- ・市有スポーツ施設の利用率の低さ
- ・気軽なスポーツ実施環境の要望
- ・新設より、既存施設改修を優先すべきとの要望

競技団体の意見

- ・小田原アリーナ、酒匂川スポーツ広場の重要性
- ・気軽に利用できる施設が必要
- ・施設の老朽化・改修が必要
- ・メンテナンス頻度の向上

- ・スポーツ器具・機器の劣化
- ・バリアフリー、ユニバーサルデザインへの対応

- ・気軽なスポーツの機会向上
- ・予約施設と時間の集中
- ・新しいスポーツへの対応

- ・健康・体力づくりへの関心の高まり
- ・気軽なスポーツ実施環境の要望

- ・小田原アリーナ、酒匂川スポーツ広場の重要性
- ・バリアフリー対応
- ・予約の取りづらさ
- ・熱中症対策が必要
- ・スポーツ器具等への不満
- ・メンテナンス頻度の向上

- ・新設より、既存施設改修を優先すべきとの要望

- ・機能や利便性の向上に伴う、利用料見直し

- ・酒匂川スポーツ広場の冠水

- ・部活動の地域移行
- ・地域スポーツクラブとの連携

- ・特定の施設を利用する団体同士の共存と連携強化

《取り巻く課題》

市の現状・政策等との連携

- ・公共施設の老朽化

国のスポーツ振興政策

- ・多様な主体が参加できるスポーツの機会創出
- ・「つくる/はぐくむ」・「あつまり、ともに、つながる」・「誰もがアクセスできる」の3視点
- ・スタジアム・アリーナを核とするまちづくり

県・近隣自治体・地域との連携

- ・地域活性化・共生社会の実現

他自治体の先進的取組

- ・スタジアム・アリーナを核とするまちづくり【サンガスタジアム（亀岡市）】
- ・エンタメ空間対応【太田アリーナ、沖縄アリーナ】

民間スポーツ施設の状況

- ・健康志向の広まり
- ・プロスポーツ、スポーツのエンタメ化への対応

スポーツ事業者の意見

- ・健康志向の広まり
- ・プロスポーツ、スポーツのエンタメ化への対応
- ・学校プール事業との連携

- ・市総合計画との整合
- ・人口推移による高齢者層の増加
- ・若年層の小田原離れ

- ・多様な主体が参加できるスポーツの機会創出
- ・「つくる/はぐくむ」・「あつまり、ともに、つながる」・「誰もがアクセスできる」の3視点

- ・地域活性化・共生社会の実現
- ・相互利用団体との予約システムの統一

- ・気軽にスポーツができる環境づくり【どこでも運動場プロジェクト（渋谷区）、「ウェルネスの実現」まちづくり計画（韮崎市）】

- ・財政状況の見直し

- ・スポーツによる地方創生
- ・PPP/PFIの推進
- ・スポーツの成長産業化

- ・相互利用団体との予約システムの統一

- ・料金見直し【平塚市、相模原市ほか】
- ・PPP活用【有明アリーナ（コンセッション、東京都）】【柳島スポーツ公園（PFI、茅ヶ崎市）】

- ・ランニングコストの高騰

- ・産学官連携、包括連携協定

- ・「つくる/はぐくむ」・「あつまり、ともに、つながる」・「誰もがアクセスできる」の3視点
- ・スポーツによる地方創生
- ・PPP/PFIの推進
- ・スポーツの成長産業化

- ・県西地域活性化プロジェクト
- ・2市8町広域スポーツ施設相互利用の推進
- ・相互利用団体との予約システムの統一

- ・プロチームとの連携やスポーツツーリズムによる地域活性化【アウトドアスポーツツーリズム（三好市）、宇都宮市のプロスポーツのホームタウン】

- ・民間スポーツ施設の老朽化
- ・ランニングコストの高騰
- ・スポーツ人材の確保

- ・学校プール事業との連携